

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今日、こうして皆さんを淀川中学校第68期生として迎えることができ、校長として、また教職員一同、大変うれしく思っています。また、新入生を祝うために早朝よりご臨席賜りましたご来賓の皆さまに、厚くお礼申し上げます。

校内の桜も、皆さんの新たな門出を祝うかのように、ちょうど見ごろを迎えています。桜は、長い冬を耐え、準備を重ねて、春に花を咲かせます。その姿は、これから始まる皆さんの中学校生活にも重なるように思います。本校の校名にもなっている淀川は、滋賀から京都、大阪を通り、多くの支流と合流しながら、大きな流れとなって海へと向かいます。水の量も速さも異なる流れが合わさることで、淀川は、より豊かでたくましい川になります。中学校生活も同じです。それぞれ違う小学校で育ち、違う経験をしてきた皆さんが、この淀川中学校に集い、学び合い、支え合いながら、ひとつの大きな流れをつくっていきます。

本校の校訓は「知・徳・体」です。「知」は、学ぶ力。自ら考え、問い続ける力です。「徳」は、人としての心。相手を思いやり、感謝する心です。「体」は、心と体の健康。挑戦し続けるための土台です。この三つは、淀川の流れのように、互いに支え合いながら成長していくものです。本校では、その「徳」を育てるうえで、挨拶をととても大切にしています。挨拶は、人と人をつなぐ、いちばん小さく、そしていちばん大切な一歩です。朝の「おはようございます」、すれ違いざまの一言——その積み重ねが、学級や学校全体の雰囲気をつくり、人との信頼を育てていきます。

皆さんは、小学校に入学するはずだった年、入学式が行われなかった学年です。当たり前だと思っていた行事や日常が、突然失われるという経験をしました。だからこそ、「当たり前」は、決して当たり前ではないということを、皆さんは知っています。今日、この入学式が行われていること。仲間と同じ空間で学び、話し、笑い合えること。それは多くの人の努力と支えがあってこそ成り立っています。どうか、そのことを心に留め、感謝の気持ちを大切にしてください。中学校生活では、楽しいことだけでなく、悩んだり、立ち止まったりすることもあるでしょう。そんなときは、一人で抱え込まず、まわりに声をかけてください。淀川が多くの流れに支えられているように、皆さんもまた、ここにいる仲間や先生に支えられています。

保護者の皆さま、お子様のご入学、おめでとうございます。中学生というこの多感な難しい時期の約1000日間、皆さま方のお子さまを本校でお預かりします。多感で難しい時期だからこそ、学校だけ、家庭だけではなく学校と家庭が連携を図り、子どもたちの将来のためにそれぞれの役割を果たす必要があると考えております。学校からいろいろな願いをすることがあるかと思いますが、その節はご協力のほどよろしく願いいたします。

桜が咲くこの春の日を新たな出発点として、一人ひとりが自分らしく成長し、やがて大きな流れとなって未来へ進んでいくことを願い、私の式辞といたします。

令和8年4月6日

大阪市立淀川中学校 校長 尾曾 由里子